

東日本大震災追悼と連帯の祈り

東日本大震災の発生から2年がたとうとしています。被災地では、かけがえのない人を失った悲しみと孤独のなかにあつて、懸命に生きている人たちがいます。また、離散させられた人々は、今もなお困難のなかにあります。

あの日からちょうど2年目を迎える日に行われるこの集いでは、災害で犠牲になられた方々を追悼し、今もって甚大な被害に直面し悲しみと困難のなかにある方々を覚えて、この地区のキリスト教学校に連なる者で祈りをあわせます。被災地のために祈りをささげる時、私たちは悲しみや苦しみの中にある人たちに共感しようとし、そして、その祈りをあわせる時、共感から被災地をエンパワーする〈つながり〉が生まれます。

今年の集いでは、被災地に立つ日本基督教団名古屋中央教会の牧師である荒井偉作先生をお招きして、ともに聖書のみ言葉に耳を傾け、祈りをあわせます。

日時 2013年3月11日(月)16:30~17:30

礼拝終了後「交流会」として、被災地での支援活動を展開するキリスト教 NPO 団体が提供して下さった映像を見ます。お時間のある方はご参加下さい。

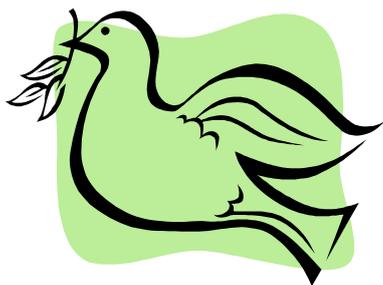
場所 日本基督教団名古屋中央教会

名古屋市東区久屋町8-6(地下鉄栄駅、出口⑤をあげるとすぐ)

礼拝のメッセージ 荒井 偉作先生(日本基督教団名古屋中央教会)

東京で生まれ育ち、新潟や海外でも過ごす。国際基督教大学・東北学院大学卒業英語教師などを経て2年前より名古屋中央教会牧師。

これまで中部地区の教務教師は、東日本大震災で被災した教会を説教で応援してまいりました。名古屋中央教会は私たちが応援することのできた教会のひとつです。そのつながりもあって、荒井先生を東北の地からお招きすることができました。



主催 中部地区キリスト教学校教務教師会